

標準委員会 第23回リスク専門部会議事録

1. 日 時 2013年2月1日（金） 13:30～17:00
2. 場 所 5 東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者（敬称略）
 - （出席委員）山口部会長，山下副部会長，成宮幹事，喜多，桐本，倉本，野中，松本，村田，山中，吉田（11名）
 - （代理出席委員）杉山（北村委員），武部（関根委員），西田（曾根田委員），山岸（河合委員），岩谷（竹山委員）（5名）
 - （代理出席委員候補）小森（藤井委員候補）（1名）
 - （欠席委員）上田，岡本，梶本，越塚，鈴木，高田，Epstein，福山，山本（9名）
 - （説明者）〔地震PRA分科会〕平野主査（1名）
 - （オブザーバ）安中，尾之内，美原（3名）
 - （事務局）室岡，新井（2名）
4. 配付資料
 - RKTC23-1 第22回リスク専門部会 議事録（案）
 - RKTC23-2 人事について
 - RKTC23-3-1 地震PRA実施基準改定の状況
 - RKTC23-3-2 地震ハザード評価にかかる課題検討状況
 - RKTC23-3-3 建屋・機器フラジリティ評価にかかる課題検討状況
 - RKTC23-3-4 事故シーケンス評価にかかる課題検討状況
 - RKTC23-3-5 地震PRA実施基準改定スケジュール
 - RKTC23-4-1 PRA品質確保分科会の活動状況（中間報告）
 - RKTC23-4-2 PRA品質確保標準素案（参考文献との比較）
 - RKTC23-4-3 PRA品質確保標準素案
 - RKTC23-5-1 津波PRA分科会活動状況
 - RKTC23-5-2 津波PRA(適用事例，英文版)コメント整理表
 - RKTC23-5-3 津波PRA評価適用事例集
 - RKTC23-5-4 津波PRA評価適用事例集の販売・配布について
 - RKTC23-6 2013年春の年会企画セッション提案書
 - RKTC23-7 レベル1PRA，停止時PRA，内部溢水PRAに関する講習会について
 - RKTC23-8 分科会・作業会の活動状況について
 - RKTC23-9 リスク専門部会における標準策定スケジュール（案）（至近3年）

参考資料

- RKTC23-参考1 リスク専門部会委員名簿
- RKTC23-参考2 標準委員会の活動状況（原子力安全検討会シンポ）

5. 議事内容

議事に先立ち、事務局から開始時点で委員26名中代理委員を含めて16名の出席で定足数（17名）に満たないことが報告され、山口主査から、第23回リスク専門部会は決議を行わないこととして進行することが報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（RKTC23-1）

議事録（案）は、事前にメールで確認いただいているが、気付いた点があれば事務局まで連絡することとした。承認は次回第24回専門部会で行う。

(2) 人事について（RKTC23-2）

定足数に達しないため、人事承認案件の審議は行わず、山口部会長より本間俊充委員（(独)日本原子力研究開発機構）と橋本和典委員（(株)東芝）の退任報告がされ、藤井雅彦委員候補（(株)東芝）の紹介が行われた。藤井委員候補の選任および高田毅士委員（東京大学）と山本章夫委員（名古屋大学）の再任審議については、メールで審議することが伝えられた。

(3) 春の年会企画セッション（RKTC23-6）

資料 RKTC23-6 に基づき、成宮幹事から 3 月 26～28 日に近畿大学で開催される日本原子力学会春の年会の企画セッションについて紹介があった。リスク専門部会企画セッションでは、「PRA の活用にかかる課題とその解決への取り組み」と題し、火災 PRA、地震 PRA、PRA 品質確保が講演予定。

(4) [中間報告] 地震 PRA 実施基準改定（RKTC23-3-1～5）

地震 PRA 分科会の平野主査、成宮幹事、作業会の安中幹事、美原幹事、岩谷幹事より、RKTC23-3-1～RKTC23-3-5 に基づき、地震 PRA 分科会の中間報告として、分科会の活動状況、現状の実施基準案等の説明が行われた。

- ・ 2011 年の震災後に改定時期を迎えていたが知見収集の可能性をみた上で、2012 年 3 月に分科会を再開した。少し遅れたが、2012 年 12 月頃までに改定骨子をまとめることで工程を設定した。
- ・ 新知見をなるべく取り入れることと規制基準の検討との関係を考慮した。
- ・ 今後は、2013 年 7 月ごろには改定文案がある程度見えることを目指して仕上げることにする。

と報告した。主なコメント・質疑は次のとおり。

- ・ 火災時に必要な設備は地震フラジリティは考慮するが、シーケンスでの扱いは今後相談する。地震による火災、溢水などの随伴事象、複合事象について、問題点を洗い出す。
- ・ ハザード解析は 3 つの作業会全てに関連している。資料を修正のこと。
- ・ SFP（使用済み燃料プール）は重要なシナリオを整理してクリティカルなことに重点化すること。シナリオのスクリーニングにより、残るものは燃料の健全性を見るなどの方法もある。
- ・ 地震 L2PRA、停止時地震 PRA をどう扱うかも課題である。
- ・ 地震で機能喪失まではいかないが、損傷を受けた設備のフラジリティは考慮しているのか？（→考慮していると回答）

- ・地震起因の火災はなるべく早く課題を出して欲しい。

(5) 地震 PRA 標準英訳について

成宮幹事より、地震 PRA 標準の NRC による英訳に関する我が国からの対応のその後について説明があった。今までの対応状況として、次のことを確認した。

- ・2011 年秋に我が国からのコメントを JNES から NRC へ返信した。
- ・その後、NRC からは返事はない。
- ・2013 年になり、海外から原子力学会地震 PRA 実施基準の英訳版の有無について問い合わせを受けている。

議論の結果、まず JNES から NRC での英訳版修正状況を確認してもらい、合わせて NRC にそれを我が国が使用することを確認することとした。

(6) [中間報告] PRA 品質確保実施基準 (RKTC23-4-1~3)

PRA 品質確保分科会の喜多幹事より、RKTC23-4-1~3 に基づき、PRA 品質確保分科会の中間報告として、分科会の活動状況と現在の審議状況等が報告された。主なコメント・質疑は下記のとおり。

- ・専門家判断と工学的判断とで結論が異なる（相反する情報となる）のであれば区別が必要だが、同様の情報が想定されるのであれば区別する必要はないのではないかと？ 標準委員会のコメントを踏まえると、そもそも、工学的判断を（標準として）許容するのか、ということもある。
- ・専門家（判断）に求められる要件を明確にすること（専門性なのか公平性・中立性なのか、課題により異なるのではないかと？）。（PRA 実施者（PRA の専門家）との専門性の違いも明確にすること）
→ 専門家判断については、専門部会でのコメントも踏まえ分科会で議論すること。
- ・専門家判断、ピアレビュー等の関連を（質疑においても誤解した質問をされた委員もいたことから）図などで分かり易くすること。
- ・当初スケジュールどおり、L1 標準改訂に間に合うよう努力する必要があるが、スケジュールありきで議論半ばの素案をあげる必要はない。議論が尽くせない場合には、L1 標準での（品質確保に関する）記載を従来通りとして改訂し、品質確保標準はその後制定ということもあり得る。

(7) [報告] 津波 PRA 分科会（津波 PRA 標準英訳版、津波 PRA 評価適用事例集）(RKTC23-5-1~4)

津波 PRA 分科会の桐本幹事より、RKTC23-5-1 に基づき津波 PRA 分科会の活動状況について、RKTC23-5-2~3 に基づき津波 PRA 標準英訳版のコメント対応状況、津波 PRA 評価適用事例集へのコメント対応状況が報告された。

また、事務局より RKTC23-5-4 に基づき津波 PRA 適用評価事例集の販売方法について提案があり、販売価格等の検討をした。

(8) 講習会について (RKTC23-7)

事務局より RKTC23-7 に基づき、2013 年 2 月 6・7 日に開催される「レベル 1 PRA、停止時

PRA, 内部溢水 PRA に関する講習会」への申込み状況, 作成テキスト等の報告がされた。

(9) その他 (RKTC23-8, RKTC23-9, 参考 1, 参考 2)

成宮幹事より, リスク専門部会下の各分科会の活動状況 (RKTC23-8, RKTC23-9) について報告がされた。また, 参考1に基づき, リスク専門部会の委員について分科会代表者および追加委員について検討がされた。本専門部会の分科会代表者については, 現行のまま継続することとなった。追加委員については, JAEAからの安全研究関係の委員の追加, 更に他のエンジニアリング会社からの委員の追加について, 検討することとなった。

参考2に基づき, 事務局から標準委員会の活動について報告され, 2月5日に, 標準委員会の傘下に設置された原子力安全検討会・分科会で検討している「原子力安全の基本的考え方」についてのシンポジウムが開催されることが紹介された。

(10) 今後の専門部会開催予定

3月1日の予定していた専門部会は中止とし, 第24回専門部会については, 候補日を4月2日, 3日, 4日とし, メールで日程調整を行うことにした (その後, 4月3日開催とした)。

以 上